

平成28年度

事務事業評価表 A（平成27年度の実績評価）

記入年月日  
平成 28 年 4 月 13 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '真壁伝承館（中央公民館）各種講座事業'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about lecture activities and procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with multiple columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥各指標. Shows trends for 26, 27, 28, 29, and 30 years.

(3) 投入量（事業費）の推移

Table showing input volume and cost trends for 26, 27, 28, 29, and 30 years. Includes sub-categories like 国庫支出金, 県支出金, etc.

Table for '事業費の内訳' (Breakdown of Business Expenses) for 27 and 28 years. Includes items like 08 報償費.

(4) 当該年度の実施内容

Table for '当該年度の実施内容' (Implementation Content of the Fiscal Year) for 28, 29, and 30 years. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	真壁伝承館(中央公民館)各種講座事業	事務事業No.	30201000612	所属課	生涯学習課
-------	--------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 公民館事業として旧真壁町で昭和59年より講座が開設され、後に「いきいき教室」、平成17年桜川市となり「公民館講座」と名称を変え多くの住民の参加があり現在に至っている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 講座は3年で入れ替えを行うが、新規講座の開催希望があれば、出来るだけ希望を取り入れて開催する。また、講座3年終了後の自主講座への移行を推進している。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域の住民の学習、交流の場として生涯学習の活動につながる
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の生涯学習活動の場を提供する。対象が市民および市内に在勤している方なので適切である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 公民館法の成立した時代とは生涯学習環境が大きく変化しており、変化に対応したあり方を検討する必要がある。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 生涯学習の場が少なくなる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名   市民対象の各種講座 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 市内3中央公民館で各別実施しているため、統合を検討する必要がある。生涯学習課はもとより、福祉関係、スポーツ関係にも類似、同様の市民対象講座が存在し、相互に連携や統廃合を行って効率化を図る必要がある。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 講座数はかなり絞っており、削減は難しい。削減よりも、むしろ増強を行うべき内容である。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 例年、メンバーの固定化が見られ、講座も同様のものが繰り返される傾向にある。民間教育産業の動向も踏まえ、公民館として本当に必要な講座を選定し実施する必要がある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 例年通りにスムーズに実施できている。ただし、生涯学習の在り方として、根本的な見直しを検討する時期に来ている。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 生涯学習事業の全面的な見直しを行い、効果的な教育普及事業の実施体制を整える。スポーツ、福祉関係の講座に人気が高い状況で、本来の文化的な講座はメンバーが固定化し概して低調である。他課にまたがる根本的な見直しが必要であり、協議に向けた準備を行う必要がある。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---